



白浜町

議会だより

No. **71**

令和6年（2024）2月

発行 白浜町議会

編集 議会広報特別委員会

CONTENTS

令和5年第4回定例会 / ピックアップ記事	2~5
意見書 / 委員会活動	6~7
一般質問	8~11
行政調査報告	12~13
町議会・町議会議長の主な動き	14~15
次回定例会日程など	背表紙

（20歳を祝う会：アドベンチャーワールド）

第4回
定例会

条例改正

- 白浜町手数料徴収例の一部を改正する条例について
- 白浜町ひとり親家庭医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について
- 白浜町企業誘致促進条例の一部を改正する条例について
- 白浜町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
- 白浜町職員の給与等に関する条例及び白浜町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について
- 白浜町長等の給与等に関する条例及び白浜町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

報告

- 第55期南白浜温泉株式会社経営状況の提出について
- 専決処分報告について

12月定例会のあらまし

- 12月5日(第1日)
 - ・会期決定、議案提案説明
- 12月14日・15日(第2日・3日)
 - ・一般質問(8名)
- 12月19日(第4日)
 - ・議案審議
 - ・追加議案提案説明
- 12月20日(第5日)
 - ・議案審議、発議案件

規約の変更

- 和歌山県住宅新築資金等貸付金回収管理組合規約の変更について
- 和歌山県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び和歌山県市町村総合事務組合規約の変更について

財産処分に関する協議

- みなべ町が和歌山県住宅新築資金等貸付金回収管理組合を脱退することに伴う財産処分に關する協議について

補正予算

○令和5年度白浜町一般会計補正予算(第5号)

・既定予算への補正額

3億9460万円

・補正後の歳入歳出予算総額

134億9380万円

主な補正内容

【総務費】

・ふるさと白浜応援寄附金事業

2億5000万円

・住基システム改修事業

594万円

・町長選挙事業

259万円

【民生費】

・障害者自立支援給付費等事業

6100万円

・子ども医療扶助事業

290万円

【衛生費】

・各種検診事業

126万円

・農林水産業費

460万円

【観光費】

・観光客等移動支援事業

586万円

【土木費】

・道路維持補修事業

1500万円

【教育費】

・デジタル教科書等購入事業

932万円

○令和5年度白浜町一般会計補正予算(第6号)

・既定予算への補正額

3億5110万円

・補正後の歳入歳出予算総額

138億4490万円

主な補正の内容

【民生費】

・住民税非課税世帯臨時特別給付金事業

2億6590万円

【観光費】

・観光誘客等事業

6000万円

○令和5年度白浜町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)

・既定予算への補正額

1465万6千円

・補正後の歳入歳出予算総額

28億4699万6千円

○令和5年度白浜町国民健康保険
事業特別会計補正予算（第4号）

・既定予算への補正額

43万4千円

・補正後の歳入歳出予算総額

28億4743万円

○令和5年度白浜町後期高齢者
医療特別会計補正予算（第2号）

・既定予算への補正額

3086万円

・補正後の歳入歳出予算総額

7億512万3千円

○令和5年度白浜町介護保険特
別会計補正予算（第3号）

・既定予算への補正額

154万円

・補正後の歳入歳出予算総額

35億9660万7千円

○令和5年度白浜町介護保険特
別会計補正予算（第4号）

・既定予算への補正額

36万2千円

・補正後の歳入歳出予算総額

35億9696万9千円

○令和5年度白浜町下水道事業特
別会計補正予算（第2号）

・既定予算への補正額

95万円

資本的収支 86万6千円

・補正後の収支予算総額

収益的収支 3億5457万3千円

資本的収入 2億6916万6千円

資本的支出 3億6882万6千円

指定管理者の指定

○白浜町国民健康保険直営日置診
療所の指定管理者の指定について

○白浜町国民健康保険直営三舞診
療所の指定管理者の指定について

○フィッシャーマンズワーク白浜の
指定管理者の指定について

訴えの提起

○訴えの提起について

【訴えの相手方】

白浜町日置525番地

日置川開発株式会社

【請求の原因】

令和5年2月3日に起こった小房

橋落橋事故に関し、落下した足

場等の撤去に要した費用及び遅

延損害金の支払いを求めるもの。

討論のあった議案

議案第84号

議案第84号「白浜町長等の給
与等に関する条例及び白浜町議
会議員の議員報酬及び費用弁償
等に関する条例の一部を改正す
る条例について」の議案審議にお
いて、廣畑議員が反対討論を行
いました。起立採決の結果、賛
成多数により、原案は可決すべ
きものと決しました。

※反対討論要旨※

本条例案では、会計年度任
用職員の給与の遡及改定を実
施しないこととされているが、
総務省の通知では、会計年度
任用職員の給与改定について
遡及することを基本とし、そ
の財源についても地方交付税
で措置するとされている。
このような物価高騰の中、
我々議員も含めた特別職の期
末手当のみを引き上げる本条
例案については反対する。

議案第60号

議案第60号「令和4年度白浜
町後期高齢者医療特別会計歳入
歳出決算認定について」の議案
審議において、廣畑議員が反対
討論を行いました。

起立採決の結果、賛成多数に
より、原案は意見を付して認定
されました。

※反対討論要旨※

物価高騰のもと年金は目減
りしており、昨年10月から一
定の所得の方の医療費の窓口
負担が倍増している。こうし
た医療費負担の増加により、
受診抑制が懸念される。
現役世代の保険料負担の上
昇を抑制するためには、高齢
者の医療費負担を引き上げる
のではなく、国庫負担を増や
すべきであり、本決算認定に
ついては反対する。

12月定例会 審議結果一覧

※議案等に対する賛成者は「○」、反対者は「×」とし、議長は通常、採決に加わらないため、「/」としています。

件名	結果	長野 莊一	堅田 府利	溝口 耕太郎	正木 秀男	廣畑 敏雄	横畑 真治	西尾 智朗	水上 久美子	松田 剛治	小森 一典	黒田 武士	辻成 紀
白浜町国民健康保険直営日置診療所の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
白浜町国民健康保険直営三舞診療所の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
フィッシャーマンズワーフ白浜の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
白浜町手数料徴収条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
白浜町ひとり親家庭医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
白浜町企業誘致促進条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
白浜町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
白浜町職員の給与等に関する条例及び白浜町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
白浜町長等の給与等に関する条例及び白浜町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	/	×	×	○	○	○	○	○	○
令和5年度白浜町一般会計補正予算（第5号）議定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度白浜町一般会計補正予算（第6号）議定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度白浜町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）議定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度白浜町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）議定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度白浜町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）議定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度白浜町介護保険特別会計補正予算（第3号）議定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度白浜町介護保険特別会計補正予算（第4号）議定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度白浜町下水道事業特別会計補正予算（第2号）議定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
和歌山県住宅新築資金等貸付金回収管理組合規約の変更について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
みなべ町が和歌山県住宅新築資金等貸付金回収管理組合を脱退することに伴う財産処分に関する協議について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
和歌山県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び和歌山県市町村総合事務組合規約の変更について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
訴えの提起について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度白浜町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度白浜町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度白浜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	/	×	×	○	○	○	○	○	○
令和4年度白浜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度白浜町土地取得特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度白浜町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度白浜町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度白浜町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度白浜町水道事業特別会計決算認定について	認定	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○

Pick up!

定例会や全員協議会等で審議された内容をピックアップしてご紹介します。

住民税非課税世帯臨時特別給付金事業

2億6590万円

第4回定例会

◆趣旨等

物価高騰等に直面する低所得世帯（住民税非課税世帯）に対し、「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」に設けられた「低所得世帯支援枠」を活用して一世帯当たり7万円を給付する。

◆事業内容

- ◇支給対象者
 - ・令和5年度住民税非課税世帯
 - ※基準日は、令和5年12月1日
- ※課税されている者の扶養親族等のみで構成される世帯を除く
- ◇給付額
 - ・一世帯当たり7万円

◆今後の予定

- ◇確認書の発送
 - ・令和6年1月下旬
- ◇受付期間
 - ・令和6年2月上旬～令和6年3月15日
- ◇給付金（振込）開始日
 - ・令和6年2月中旬

観光客等移動支援事業

586万円

第4回定例会

◆白浜温泉周遊ナイトバス実証運行事業

◇目的

白良浜周辺等の飲食店を利用する観光客等の夜間等における交通手段の充実を図るため、実証運行事業を実施する。

- ◇事業期間 令和6年2月～3月
- ◇運賃等 無料
- ◇事業費 156万円（内、白浜町86万円）
- ◇運行ルート 白良浜～白浜温泉周辺ホテル・旅館等

◆白浜町デマンドバス実証事業

◇目的

南紀白浜空港やJR白浜駅を利用する観光客等に対して、南紀白浜エアポートを中心とした交通事業者等によるデマンドバスの運行実証実験を実施し、空港等に関する2次交通の充実を図る。

- ◇事業主体 南紀白浜エアポート
- ◇事業期間 令和6年1月～2月
- ◇事業費 500万円（実証事業町負担分）
- ◇運行ルート 町内観光施設他16箇所（南紀白浜空港・JR白浜駅を含む）

観光誘客等事業

6000万円

第4回定例会

◆趣旨等

物価高騰の影響を受ける観光事業者等への支援を図り、コロナ禍による影響からの観光需要の回復をより着実なものとするともに、令和6年の「紀伊山地の霊場と参詣道世界遺産登録20周年」及び令和7年の「大阪・関西万博」を契機として、国内外へ「世界に誇れる観光リゾート白浜」の魅力を広く発信し、観光等産業の推進を図ることで、地域経済の活性化に資することを目的として、「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、観光誘客等に係る事業を実施する。

◆事業費

- ・6000万円
- （内、国庫補助金5942万円）

◆事業内容（予定）

- ・個人、団体観光誘客の促進に関する事業等
- ・地域内消費の向上に関する事業等
- ・その他観光誘客等に関する事業等

提出した意見書

発議第4号「ブラッドパッチ療法（硬膜外自家血注入療法）に対する適正な診療上の評価等を求める意見書」の提出について

提出者 白浜町議会議員 松田 剛治

採決結果 可決（全会一致）

ブラッドパッチ療法（硬膜外自家血注入療法）に対する適正な診療上の評価等を求める意見書

交通事故、スポーツ、落下事故、暴力など全身への外傷等を原因として発症する脳脊髄液漏出症（減少症）によって、日常生活を大きく阻害する様々な症状に苦しんでいる患者の声が、全国各地から国へ数多く寄せられていた。平成18年に山形大学を中心に関連8学会が参加し、厚生労働省研究班による病態の解明が進んだ結果、平成28年より同症の治療法であるブラッドパッチ療法（硬膜外自家血注入療法）が保険適用となった。

その結果、それまで高額な自費診療での治療を必要としていた患者が、保険診療のもとにブラッドパッチ療法を受けることができるようになったが、脳脊髄液漏出症（減少症）の患者の中には、保険適用J007-2の要件に掲げられている「起立性頭痛を有する患者に係る者」という条件を伴わない患者がいるため、医療の現場では混乱が生じている。

また、その後の研究で、脳脊髄液の漏出部位は一か所とは限らず、頸椎や胸椎部でも頻繁に起こる事が報告された。ここで、この頸椎や胸椎部にブラッドパッチ療法を安全に行うためには、X線透視下で漏出部位を確認しながらの治療が必要であるが、診療上の評価がされていない現状がある。

よって政府においては、上記の新たな現状を踏まえ、脳脊髄液漏出症（減少症）の患者への、公平で安全なブラッドパッチ療法の適用に向け、以下の事項について適切な措置を講ずるよう強く要望する。

記

1 脳脊髄液漏出症（減少症）の症状において、約10%は起立性頭痛を認めないと公的な研究でも報告があることを受け、算定の要件の注釈として「本疾患では起立性頭痛を認めない場合がある」と加えること。

2 ブラッドパッチ療法（硬膜外自家血注入療法）の診療報酬において、X線透視を要件として、漏出部位を確認しながら治療行うことを可能にするよう、診療上の評価を改定すること。

以上、地方自治法第99条に基づき意見書を提出する。

令和5年12月20日

和歌山県白浜町議会

【提出先】 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 厚生労働大臣 国土交通大臣
文部科学大臣 内閣官房長官

決算審査特別委員会

決算審査特別委員会は、10月2日から5日までの4日間、委員会を開催し、令和4年度一般会計および特別会計8件の決算を審査しました。以下に、総括意見を掲載します。

決算審査特別委員会審査報告書 総括意見

令和4年度決算は、各種会計において、「第2次白浜町長期総合計画」を基に、「住みたい、住み続けたい、住んでよかった」と感じられる、魅力あふれる「白浜町」を創造するため、保健医療・福祉、防災対策、生涯学習、観光振興、農林水産業振興、地域振興等の諸施策に対して、取り組まれている。

今後の行政施策の取組においては、同計画を基に、各種施策が展開されるものと思われるが、社会情勢の動向に注視しながら、住民サービスの的確な対応を行い、限られた財源を効果的、効率的に活用した行財政運営を行うとともに、地域バランスや事業の優先順位などを十分考慮しながら、中長期的な見通しを立て、事務事業の執行に取り組まれない。

歳入においては、人口減少や少子高齢化に伴い町税収の減収が懸念される状況にある中、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大や原材料価格の高騰など、社会経済の幅広い業種で影響が生じており、依然として厳しい状況下にある。また自主財源の割合は39.0%であり、地方交付税や国庫支出金等に歳入の多くを依存している状況である。住民生活に身近なサービスを安定的・持続的に提供するには、地域の実情に応じた地域活性化の取組を進め、一般財源を適切に確保していく必要がある。よって、町税、国民健康保険税、各種使用料、手数料等の未収金については、町財政の根幹である自主財源の低下を招くものであることから、公金の徴収・収納に関しては、引き続き各課の連携を密にして徴収業務を実施するとともに、財源の確保と負担の公平性の観点からも、収納対策に取り組まれない。

歳出においては、財政の深刻度を示す財政健全化判断比率は、それぞれ前年度決算と同程度であるが、財政構造の弾力性を判断するための指標である経常収支比率は、令和4年決算では92.0%となり、前年度決算より1.9%悪化しており、依然として財政構造の硬直化が続いていることを示している。今後も厳しい財政運営を強いられることが予想される中、行政改革においては、財政再建、経費削減に努められ、民間活力を活用した行政事務等の民間委託やアウトソーシングなどにより、行政のスリム化、効率化を推進されたい。引き続き、時代に即した行政需要に的確に対応し、住民サービスのより一層の向上を図るために、組織、制度や行政運営の在り方を見直し、行財政運営の適正化・効率化を図られたい。また、将来の見通しを的確に把握し、財政健全化に取り組む、町債の残高に留意されたい。

決算審査を行う意義は、「行政効果の客観的判断と、今後の改善や反省事項の把握と活用」である。当委員会で出された意見を真摯に受け止め、安定的な財政運営に努め、次年度以降の予算の編成・執行に反映されたい。また、今後とも町民の福祉の向上や質の高い行政サービスの提供を行うなど、施策・事業の計画的推進、重点化及び効果的な財源配分に努められたい。

なお、個別意見は以下の通りであるが、指摘された個々の事項については、早急に精査し、解決に向けて対応されたい。

【委員長】 辻 成紀

【副委員長】 堅田 府利

【委員】 長野 莊一、 溝口 耕太郎、 廣畑 敏雄、 横畑 真治、 西尾 智朗、 水上 久美子、
松田 剛治、 黒田 武士



(現地調査：電子黒板等購入事業)



(現地調査：町道藤島細野線改良事業)



(現地調査：湯崎保育園建設事業)

問 高齢者の尊厳が守られる共生社会の実現は

答 支え合いの地域づくりに取り組んでいく

高齢者等の支援

問 本年の通常国会で「認知症基本法」が成立したが、今後の認知症施策の推進について伺う。

答 認知症基本法の基本理念等に基つき、認知症の方と地域住民が相互に人格と個性を尊重しつつ、支え合いながら共生する活力ある地域づくりの実現に向けた取組を進めていく。



まつだ たけはる
松田 剛治 議員

QRコードの有効
期限は3月下旬まで



(認知症サポーターのイメージ)

問 認知症の理解を深め地域で支え合う環境づくりとして、本町職員の認知症サポーター養成講座の受講を推進すべきと考えるが、町の考えはどうか。

答 全職員が認知症サポーター養成講座を受講できるように検討する。

不登校児童生徒等の支援

問 コミュニティバスの利便性向上を考え、運行ルート等を見直すべきと考えるがいかがか。

答 いただいた要望は、内容を精査、検討の上、対応可能なものについては、白浜町地域公共交通会議に諮り利便性の向上に努めていく。

問 不登校児童生徒等の支援として多様な居場所、学びの提供、その子どもの保護者支援について伺う。

答 児童生徒の心の状態に合わせて、相談室等を活用した支援を行っている。また、不安感のある保護者を孤立させないよう、必要に応じてスクールカウンセラー等を活用した働きかけを行っている。

問 町立図書館の建設に向けた町の方向性は

答 図書館機能を加えた複合施設として建設

町立図書館の建設

問 図書館建設の方向性を、町長の任期中に提示していただきたい。

答 図書館建設の方向性については、児童館建て替え時に図書館機能を加えた複合施設として建設する結論に至り、現在も関係団体や地元区等との協議を行っている。

小学校のトイレ

問 小学校トイレの洋式便座と前の仕切板の間が17センチしかなく、利用しにくい。改善できないか。

答 各学校のトイレの状況を再点検し、学校側とも協議の上、引き続き学校の環境改善に努めていく。

講演会などのオンライン配信

問 講演会などオンライン配信をして鑑賞、聴講してもらってはどうか。

答 配信にあたり講師等から制限がある場合があるなどの課題もあるが、各課において、オンライン配信及び録画配信について検討する。

会計年度任用職員の待遇

問 会計年度任用職員の待遇改善について、国は追加財政需要額により対応するとのこと。正規職員と同じく4月に遡って実施していただきたい。

答 来年度から勤勉手当を支給するなど、今後も正職員との均衡を図り、処遇の改善に努める。



ひろはた としお
廣畑 敏雄 議員

QRコードの有効
期限は3月下旬まで



(小学校のトイレ)

問

安心して暮らせるまちづくりに向けた考えは

答

力を合わせ、希望の持てるまちづくりを推進

安心して暮らせるまちづくり

問町の発展には観光産業の発展なくしては成り立たない。町の発展なくして住民が安心して暮らせることはできない。また、大事な行政課題等の白浜町清掃センターの延長問題。それに関連してのごみ焼却施設の広域化の実現。高齢化社会を迎えた今、今後もより安心して暮らせるように取り組まなければならぬ。

町長は、来年の町長選挙に出馬表明をしているが、再度、町長選挙挑戦に向けた町長の覚悟について伺う。

答今回質問いただいた観光産業の発展、衛生施設等の行政課題、少

子高齢化社会における様々な対策等に全力で取り組むことはもちろんのこと、これからのまちづくりが将来の白浜町の発展に大きな影響を及ぼすと考えており、町民が力を合わせて、希望の持てる町づくりに引き続き取り組んでいかなければならないと考えている。

町長選挙を控えていることから、今後の様々な施策展開について、現時点で具体的にお示しできるものではないが、来年の町長選挙で信に任ただけければ、早急に事業推進に取り組みたいと考えている。

今後、町のトップとして先頭に立ち、様々な課題に立ち向かい、職員とのコミュニケーションを図り、これら施策の遂行に一丸となって取り組む覚悟である。



みぞぐち こうたろう
溝口 耕太郎 議員

QRコードの有効
期限は3月下旬まで



問

白浜町最終処分場の跡地利用の検討状況は

答

椿地域に貢献できる利活用を検討中

白浜町最終処分場

問白浜町最終処分場の廃止に向けた現状と、跡地の上部利用の検討状況と当面の取り組み、並びに課題について伺う。

答現在、最終処分場は、1mの厚さで覆土を行っているが、一部未完了箇所もあり、全面覆土に向け検討を進めている。また、水質、温度、ガスともに基準値の範囲内で推移し、異常は確認されていない。この状態が2年間続けば、廃止に向けた次の段階を検討できるため、現在は状況監視を継続している。

跡地利用については、廃止計画に影響する利用はできないことから、東京大学生産技術研究所付属災害トレーニングセンター及び一般

社団法人トレーニングセンター支援会と協議を行い、最終処分場上部を災害時の廃棄物の一時保管場所に指定して、災害時に活動するボランティアの重機の実践訓練場として開放する検討を進めている。

来年2月には、椿地域の課題を洗い出すため、試験的に椿地域全体をフィールドとした実践訓練を実施することとなった。こうした跡地利用について、12月3日に地元椿地域で説明会を開催し、参加者から好意的な意見をいただいている。25年間という長きにわたる椿地域の皆様の深いご理解に、改めて感謝とお礼を申し上げたい。

このほか、長野議員は「白浜町の施設貸し出しについて」質問しました。



ながの そういち
長野 荘一 議員

QRコードの有効
期限は3月下旬まで



(白浜町最終処分場)

問

ふるさと納税はどのように活用されているか

答

町の貴重な財源として多岐にわたる事業に活用

ふるさと納税

問 白浜町は、ふるさと納税制度について、こういった取り組みをされてきたのか伺う。

答 ここ数年は寄附額が大幅に増加している。返礼品の企画・掘り起こしやポータルサイトの開設を行っており、各種旅行クーポン等も積極的に掲載している。当町の貴重な財源として引き続き募集の推進を図る。

問 白浜町に寄附されたふるさと納税（寄附金）はどのように活用されているのか伺う。

答 ふるさと白浜応援基金の充当事業はホームページに公表しており、多岐にわたる事業に充たさせていた。だいでいる。

問 観光地である白浜町では、「旅先納税」が非常に利用しやすいと思うが、現状はどうか伺う。

答 令和5年度は10月末現在で約345万円の募集実績となっている。多くの観光客が白浜滞在中に、返礼品として地域で使用できる電子クーポンの利用（旅先納税）により、更なる寄附訴求と地域での消費増が図れるものと期待している。引き続き積極的に周知広報に努める。

問

役場本庁舎等の建て替えなど、今後の展望は

答

建て替えの必要性や今後の在り方を検討

公共施設

問 庁舎などの公共施設は住民の生活にとって大切な施設である。本庁舎や富田・日置川事務所の今後について、移転や建替えなどの展望を伺う。

答 庁舎等の整備は、町民サービスの向上はもとより、災害時等における重要な拠点として業務を継続できる体制の構築、勤務する職員

の職場環境の改善や安全の確保も必要であると考えている。重要課題と位置づけ、まずは庁内で持続可能なまちの実現に向け、庁舎の建て替えの必要性及び今後の在り方等について、引き続き検討を重ねたい。

小中学校の学校給食

問 町内の小中学校の学校給食の無償化に取り組んではどうか。

答 給食費の完全無償化は財政的な負担が大きく、現在考えていないが、今後も国・県の補助制度等を注視しながら、学校給食を円滑に実施できるよう努めていく。

安全な生活道路

問 馬の一原トンネルについて、通行する方の安全が確保できる方法はないか伺う。

答 照明設備の追加、歩道区画線の設置方法や注意喚起看板の設置など、歩行者の安全確保ができるよう対策を検討していく。



かたた あつし
堅田 府利 議員



QRコードの有効
期限は3月下旬まで



(ふるさと納税サイト)



くろだ たけし
黒田 武士 議員



QRコードの有効
期限は3月下旬まで



(白浜町役場本庁舎)

問 国保税の負担軽減のための町の取り組みは

答 所得に応じ、税額の負担軽減措置を実施

国民健康保険

問 誰もが一度はお世話になる市町村国保の保険料値上げが地方政治の問題となっている。白浜町における令和4年度の国保世帯数と滞納世帯数、短期保険証、資格証明書の発行数などについて伺う。

答 令和4年8月1日現在で、国民健康保険加入世帯数は3758世帯、短期被保険者証は94世帯、資格証明書は84世帯となっている。滞納世帯数は、令和5年3月31日現在で315世帯となっている。

問 国保基金（国保財政安定化のための貯金）を使って国保税の負担を軽減するなど、現状をよくするための町の取り組みを伺う。



よこはた しんじ
横畑 真治 議員



QRコードの有効
期限は3月下旬まで



（白浜町内の畑）

答 国保税の額を算定する際、法令により定められた所得基準を下のる世帯については、被保険者応益割（均等割・平等割）額を軽減する制度が設けられている。

農業について

問 農業と農村を再生し、自給率を本気で向上させるにはどうすればよいか真剣に考える必要がある。町長の考えを伺う。

答 和歌山県の生産額ベースの食料自給率は高く、付加価値が高い高品質な農産物を生み出しているという強みがある。様々な制度を活用し、生産活動を推進しながら、このような強みを生かして行くことが効果的であると考える。

問 野良猫の不妊去勢手術などに対する補助の創設は

答 補助制度創設も含め周辺市町と協議を継続

野良猫対策

問 捨て猫や糞尿問題は観光の町の問題である。野良猫による迷惑や不幸な猫を減らすため、条例の制定を考えていただきたい。

答 県において、猫を排除するのではなく上手に付き合いながらその数とふん尿などの被害を減らしていく「地域猫」の取り組みが行われており、当町も県と連携しながら野良猫対策に取り組んでいる。

問 繁殖予防病院やワンニャン会などの避妊手術や糞尿の始末をする方々がいる。またクラウドファンディングでの猫の繁殖予防支援、里親探しも命を守る問題である。町の課題として捉え、支援を提言する。

答 野良猫等に関して寄せられる苦情も増えてきていることから、犬及び猫の過剰繁殖を抑制するため、不妊及び去勢手術に対する補助制度を検討している。

白浜町手話言語条例施行

問 手話言語条例に基づく事項の進捗と意思疎通支援の今後は。

答 手話通訳者の派遣事業や手話表現技術を習得するための「手話奉仕員養成講座」などを行っており、町が主催する催物などにおいても、手話通訳者による意思疎通ができるよう配慮に努めている。今後手話に対する理解促進を図るため、広く啓発等を行っていく。



みずかみ くみこ
水上 久美子 議員



QRコードの有効
期限は3月下旬まで



（犬猫繁殖予防病院）

調査報告

総務文教厚生
常任委員会

◇調査年月日 令和5年10月25日～27日

◇調査事項及び調査地

- ・「移住・定住促進について」(大分県豊後高田市)
- ・「中津流DXについて」(大分県中津市)
- ・「ICTを活用した子どもの見守りについて」(福岡県粕屋町)

◇参加者

- ・松田委員長、横畑副委員長
溝口委員、正木委員、西尾委員、水上委員

※調査報告書の全文はこちら→



◆大分県豊後高田市

豊後高田市では、人口減少対策を市の最重要課題と位置づけ、移住・定住対策に力を注いでおり、移住者が安心して暮らせる環境づくりに取り組んでいる。市の支援策を活用した移住者は、令和元年度から4年連続で300人を超え、市の人口動態では、9年連続転入者が転出者を上回っている。

◇委員所感(抜粋)

市の移住・定住施策の成功の要因として、ふるさと納税を財源とした全国でもトップレベルの子育て・教育支援の充実が挙げられる。白浜町においても少子高齢化、過疎化は深刻な課題であり、市の取り組みを参考に、移住・定住施策の充実が求められる。



(大分県豊後高田市 議場)

◆大分県中津市

中津市では、市役所の窓口手続きのオンライン化、行政情報をスマホの地図機能やカレンダー機能を活用して分かりやすく提供するなど、デジタル技術を用いることで市民の生活をより良いものへと変革する「中津流DX」の取り組みが進められている。

◇委員所感(抜粋)

中津市では、本格的な人口減少への危機感などを背景に、DXの取り組みが進められてきた。「誰ひとり取り残さない、人にやさしいデジタル化」の視点で、行政手続きの負担軽減として、デジタル技術を活用し、住民に寄り添ったサービスが提供されている点が参考となった。



(大分県中津市での調査)

◆福岡県粕屋町

粕屋町では、IOTを活用した子ども見守りサービスを導入し、地域全体で子どもたちを見守る環境づくりに取り組んでいる。

本サービスは、子どもが持つ見守り端末の位置情報を保護者がスマホなどで確認できるもので、今後、高齢者の見守りサービスなどへの展開が予定されている。

◇委員所感(抜粋)

粕屋町では、IOTを活用した子どもの見守りサービスなど、子どもが安全安心に暮らせるまちづくりが進められており、人口減少対策の一因になっていると考えられる。少子高齢化の進む白浜町においても、こうした取り組みが参考になると考えられる。



(福岡県粕屋町での調査)

調査報告

観光建設農林
常任委員会

◇調査年月日 令和5年11月6日～8日

◇調査事項及び調査地

- ・「磐梯町デジタル変革戦略について」(福島県磐梯町)
- ・「西会津町デジタル戦略について」(福島県西会津町)
- ・「小さな拠点と地域づくりについて」(山形県長井市)

◇参加者

- ・廣畑委員長、黒田副委員長
- 長野委員、堅田委員、小森委員、辻委員

※調査報告書の全文はこちら→



(福島県磐梯町での調査)

◆福島県磐梯町

磐梯町では、少子高齢化、地域経済の停滞等、直面する様々な課題を解決していくためには、国などからやってくる「ヒト・モノ・カネ」に大きく依存したこれまでの地域経営では限界があるとの考えのもと、デジタル技術を活用した町民本位の新しい行政経営に取り組んでいる。

◇委員所感(抜粋)

社会的弱者を取り残さない手段としてデジタル技術は大きな力になると考えられるが、行政手続きを全てデジタル化してしまうのではなく、磐梯町のように利用する人の情報格差に応じてアナログ手法も残していくことが必要だと感じた。

◆福島県西会津町

西会津町では、令和3年3月に「西会津デジタル戦略」を策定し、日々進化するデジタル技術を戦略的に活用するなど、地域の課題解決や行政サービスの向上を図るため、あらゆる分野でのデジタル変革に取り組んでいる。

◇委員所感(抜粋)

高齢化の進む西会津町では、地域課題を解決し、行政サービスを向上させるため、デジタル専門人材を町に登用し、デジタル戦略の取り組みが進められてきた。白浜町においても、ITビジネスオフィスに入居する企業人材を積極的に登用し、デジタル技術を町の課題解決に活用していくことが期待される。



(福島県西会津町 議場)

◆山形県長井市

長井市では、中心市街地に市庁舎や公共複合施設(子育て支援施設と図書館)、病院などを集積し、コンパクトなまちづくりを進めている。また、中心市街地と地域の拠点を公共交通で結び、20年後も30年後も各地区が共存する長井市として、市民が幸せに暮らせるまちづくりに取り組んでいる。

◇委員所感(抜粋)

長井市が行う小さな拠点と地域づくりの取り組みは、行政を効率化するだけではなく、地域とのつながりや連携を強め、共助につながることから、少子高齢化、過疎化の進む白浜町においても、検討を進めていかなければならない課題だと感じた。



(長井駅と一体となった市庁舎)

11月

- 9日 ● 高齢者運動会
- 8日 ● 観光建設農林常任委員会 行政調査
- 7日 ● 観光建設農林常任委員会 行政調査
● 千葉県 館山市議会新政クラブ 視察来庁
- 6日 ● 観光建設農林常任委員会 行政調査
● 人権を大切にする地域づくり講演会
- 1日 ● 第14回シニアレクリエーション大会

10月

- 28日 ● 白良浜ライトパレード点灯式
- 27日 ● 総務文教厚生常任委員会 行政調査
- 26日 ● 総務文教厚生常任委員会 行政調査
- 25日 ● 総務文教厚生常任委員会 行政調査
● 公立紀南病院組合議会
- 白浜町暴力団追放協議会
- 24日 ● 県議会 委員長・副委員長研修会
- 23日 ● 福岡県 上毛町議会 視察来庁
- 20日 ● 紀南環境広域施設組合議会
- 16日 ● 福井県 高浜町議会 視察来庁
- 6日 ● 議会広報特別委員会
- 5日 ● 決算審査特別委員会
- 4日 ● 決算審査特別委員会
- 3日 ● 決算審査特別委員会
- 2日 ● 決算審査特別委員会
- 1日 ● 第57回白浜町民体育大会

▷▷ 議場の紹介

「議場」は、本会議を行うところで、議員活動の中心となる場所です。3月、6月、9月、12月に行われる定例会や必要に応じて開かれる臨時会等で使用します。



(傍聴席側から撮影)

- ① 中央の一番高いところに「議長席」があります。議長席の隣には、「議会事務局長席」があります。
- ② 議長席の前には、議員や町当局が議案の説明や答弁等を行う「演壇」があります。
- ③ 議長席の左右にある席は、町長をはじめ、町の幹部職員が着席します。それぞれの席に設置されている氏名標を立てることで、出席を示します。

- ④ 議員が着席する「議員席」で、それぞれの席に設置されている氏名標を立てることで、その議員の出席を示します。

- ⑤ 議員席の後ろに「傍聴席」があり、会議の様子を見ることが出来ます。傍聴席は一般席が20席、記者席が5席あります。



町議会・町議会議長の主な動き(10月~12月)

12月		11月	
22日	●公立紀南病院組合議会 ・議会広報特別委員会	30日	●西牟婁郡町村議会議長会 政務踏査 ●第67回町村議会議長会全国大会
20日	●定例会(第5日)・議会運営委員会	29日	●西牟婁郡町村議会議長会 政務踏査
19日	●定例会(第4日)・議会運営委員会	28日	●西牟婁郡町村議会議長会 政務踏査
15日	●定例会(第3日)	27日	●富田川衛生施設組合議会
14日	●定例会(第2日)・議会運営委員会	24日	●議会運営委員会
5日	●定例会(第1日)・全員協議会 ●大辺路衛生施設組合議会	17日	●田辺市及び周辺町議会正副議長会総会
1日	●第16回議長杯ゲートボール大会	16日	●富田川治水組合議会
		14日	●全員協議会
		12日	●南紀日置川リバーサイドマラソン大会
		10日	●豊水神社例祭
			●秋田県 藤里町議会 視察来庁

▷▷ 傍聴のご案内

傍聴は、議員の活動や町長の考え、町政の方針を知る最も身近な方法です。簡単な手続きで傍聴ができますので、ぜひ傍聴にお越しください。

》》 手続き

- 傍聴席入口の傍聴人受付名簿に、住所、氏名を記入し、傍聴人受付簿入に入れてください。
傍聴人数が傍聴席数を超えることが予想される場合は、傍聴券を発行することがあります。



》》 傍聴席

- 議場の傍聴席は、一般席20席、記者席5席です。
傍聴席には限りがありますので、先着順とさせていただきます。
- 白浜町ホームページで、本会議の録画配信を行っています。傍聴席が背景の一部として映りますので、ご了承のうえ傍聴をお願いします。
- 傍聴席に空きがない場合、録画映像に映りたくない場合は、議場隣の委員会室にて音声のみお聞きいただけます。
- 審議やほかの傍聴者の妨げにならない範囲で、会議中の入場や途中退席をすることができます。



3月定例会

日	月	火	水	木	金	土
2/25	26	27 第1日 提案説明	28	29	3/1	2
3	4	5	6	7 第2日 一般質問	8	9
10	11	12	13	14	15 第3日 議案審議	16
17	18 第4日 議案審議	19	20	21	22	23

※次回の定例会は、2月27日から3月18日まで開催予定です。
詳しい日程などは、議会事務局までお問い合わせください。

議会を“見て”

本会議などの様子をインターネットで録画配信しています。



録画配信HP

議会を“聞いて”

一般質問の様子をFMビーチステーションで放送しています。



FM放送予定

議会を“知って”

過去の議会だよりについても、ホームページでご覧いただけます。



議会だよりHP

第67回町村議会議長会全国大会



11月29日、NHKホールにおいて約1,600人の町村議会関係者の出席のもと、第67回町村議会議長会全国大会が開催されました。

町村議会 委員長・副委員長研修会



10月24日に委員長・副委員長研修会が開催され、全国町村議会議長会 議事調査部 参与 平野 誠氏に「委員会の運営について」講演いただきました。

編集 後記

白浜町では、新年を迎えさまざまな式典、行事等が再開されています。

また、今年は、「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録20周年を迎え、令和7年には、大阪・関西万博が開催されます。広域観光のチャンス在白浜町もアピールし、インバウンド需要増加などによる観光活性化が期待されるところです。

議会では、これまで調査・研究してきた

ペーパーレス化に関し、タブレット端末の導入を進めており、機器導入後は、会議の効率化、資源の節減、住民サービスの向上につながるよう取り組みを進めてまいります。（水上）

議会広報特別委員会

委員長 水上久美子
副委員長 黒田 武士
委員 堅田 府利 横畑 真治
西尾 智朗 辻 成紀